

目 次

報 文

病 害 の 部

(畑作物・野菜の病害)

ペニバニンゲンの白絹病およびリゾクトニア根腐病に対する簡易な薬剤防除 渡邊 健・柴田夏実・本橋みゆき	1
チオファネートメチル剤耐性ダイズ紫斑病に対する有効な薬剤防除 柴田夏実・本橋みゆき・渡邊 健	5
ダイズ品種「丹波黒」における莢しみ症状の原因調査と防除対策 久保周子・吉沢雅弘・竹内妙子	9
ダイズ黒根腐病防除に有効な薬剤の選抜と処理方法について 仲川晃生・越智 直 土壌の湛水化がジャガイモそうか病の発生に及ぼす影響 仲川晃生・中村吉秀・菅 康弘・迎田幸博	13 23
ウイルスフリー化処理によるサツマイモ立枯病の品種抵抗性の低下 高野幸成・雨宮昭彦・猪野 誠	29
熱水土壤消毒によるメロンつる割病の防除と持続効果 小河原孝司・富田恭範・西 和文・西宮 聡・窪田耕一	35
ミナミキイロアザミウマの発生活長とキュウリ黄化えそ病の発病との関係 鈴木 誠・岡本昌広・鯉沼咲衣・山口元治・植草秀敏	41
群馬県におけるキュウリ黄化えそ病の発生実態 小倉愉利子・桑原克也・畠山雅直	47
キュウリ促成栽培における結露センサー付き暖房機制御装置を利用したべと病の発病抑制 牛尾進吾・竹内妙子	51
千葉県におけるキュウリ褐斑病菌の数種薬剤に対する感受性 ... 竹内妙子・久保周子・石井英夫 イチゴうどんこ病に対する <i>Bacillus subtilis</i> 芽胞水和剤ダクト内投入の防除効果 山岸菜穂・江口直樹・原 廣美	55 61
<i>Rhizoctonia solani</i> による新病害，ルッコラ立枯病およびオレガノ葉腐病の発生 竹内 純・堀江博道	65
コマツナに発生した菌核病（新称） 嶋田竜太郎・星 秀男・竹内 純 （果樹の病害）	69
長野県における赤ナシ「幸水」での殺菌剤削減の影響 江口直樹・山岸菜穂・原 廣美 （花卉・花木・樹木の病害）	73
山梨県のシクラメン圃場におけるインパチエンスネクロティックスポットウイルス（INSV）の 多発要因と防除 ... 佐幸歌菜・河野敏郎・櫻井民人・津田新哉・玉井重則・天野絵美・國友義博	77
ニューサイランおよびロウバイに発生した炭疽病（新称） 竹内 純・堀江博道	83
ラベンダーおよびステビアに発生した灰色かび病（新称） 竹内 純・堀江博道	87
虫 害 の 部 （イネ・ムギの虫害）	
クモヘリカメムシの発育におよぼすイネおよびアワの給餌効果 橘 真一郎・渡邊朋也	91
イネミズゾウムシ <i>Lissorhoptrus oryzophilus</i> に対する育苗箱施用殺虫剤 3 剤の効果比較 森本信生・渡邊朋也・安田哲也・石崎摩美	95

(畑作物・野菜の虫害)

トマトハモグリバエとその寄生蜂に対する殺虫剤散布の影響 鈴木 藍・天野加恵・廣森 創・廿日出正美・西東 力	101
カメムシ低密度地域のダイズ生産における適切な農薬散布回数 伊藤健二・水谷信夫・田淵 研・守屋成一	105
東京都奥多摩地域のワサビ栽培における害虫相とヘリジロカラスニセノメイガの被害 竹内浩二・竹内 純・西村修一・大林隆司	111
大型施設におけるハーブ類のコナガおよびハスモンヨトウに対する交信攪乱剤の防除効果 片瀬雅彦・清水喜一・大木 浩・内田重夫・永田健二・内藤尚之	115
山梨県のナスほ場におけるタバコガ類の発生実態 國友義博・佐幸歌菜・天野絵美	119
千葉県圃場内におけるヒョウタンゾウムシ類の越冬状況と越冬後の生息状況 片瀬雅彦・清水喜一・八槇明子・深見理子	123

(果樹の虫害)

ナシ樹上および下草におけるカブリダニ類の発生状況と薬剤感受性..... 山城 都・若樹睦子	129
山梨県のモモ圃場におけるナシマルカイガラムシの発生実態 天野絵美・佐幸歌菜・國友義博・村上芳照・功刀幸博	137

(花卉・花木・樹木の虫害)

小笠原諸島父島および母島におけるフタテンミドリヒメヨコバイの発生確認とその被害 小野 剛・小谷野伸二・野地喜徳・大林隆司	141
茨城県フラワーパーク園内におけるオオタバコガ幼虫によるバラ薔の被害 松井武彦・上田正興・斉藤益美・吉田 晃	145

(茶の虫害)

チャ樹におけるクワシロカイガラムシの樹内分布 小澤朗人	149
線 虫 の 部	
東京都におけるエダマメのダイズシストセンチュウ発生実態 伊藤 綾・竹内浩二・高木章雄・櫻井文隆・洪澤英城・菅谷悦子・栄森弘己・山岸 明	153
農 薬 の 部	
緑肥作物のほ場周縁部植栽による農薬飛散(ドリフト)防止効果 酒井 宏・富田真佐男・吉岡正明・關 匡房	157

第53回研究発表会講演要旨

病 害 の 部

熱水土壤消毒によるメロンつる割病の防除と持続効果 小河原孝司・富田恭範・西 和文・西宮 聡・窪田耕一	163
コンニャク乾腐病におけるベンズイミダゾール系薬剤耐性菌の出現と薬剤防除効果への影響 柴田 聡	163
2005年度に行った病害診断依頼の調査結果から - 特に樽栽培トマトにおける病害の発生について - 外側正之	163
ウイルスフリー化によるサツマイモ立枯病の品種抵抗性の低下 高野幸成・雨宮昭彦・猪野 誠	164
ポインセチアに発生したうどんこ病(仮称) 星 秀男・佐藤幸生・堀江博道	164
病害虫による玄米着色粒の分類法..... 矢ヶ崎健治・根岸 進・新井利行・江村 薫	164

生物農薬（バチルス・ズブチリス水和剤）のダクト内投入によるイチゴうどんこ病防除	山岸菜穂・江口直樹・原 廣美	165
栃木県におけるMBI-D系薬剤耐性イネいもち病菌の発生状況	小林泰弘	165
「丹波黒」蒺しみ症状原因究明	久保周子・吉沢雅弘・竹内妙子	165
ダイズ黒根腐病に対する薬剤防除効果	仲川晃生・越智 直	166
ベニバナインゲン白絹病およびリゾクトニア根腐病の薬剤防除	渡邊 健・柴田夏実・本橋みゆき	166
薬剤耐性ダイズ紫斑病に対する効果的な薬剤防除	柴田夏実・本橋みゆき・渡邊 健	166
シクラメン圃場におけるインパチェンスネクロティックスポットウイルス（INSV）の 多発要因及び防除対策	...	
佐幸歌菜・河野敏郎・櫻井民人・津田新哉・玉井重則・天野絵美・國友義博		167
タマネギ栽培圃場周辺におけるトルコギキョウ栽培施設内外のネギアザミウマ誘殺消長と IYSV保毒虫率	藤永真史・古畠修一・米山千温・宮本賢二・宮坂昌実・小木曾秀紀	167
ミナミキイロアザミウマの発生消長と、キュウリ黄化えそ病の被害との関係	鈴木 誠・岡本昌広・鯉沼咲衣・山口元治・植草秀敏	168
千葉県におけるメロンえそ斑点病抵抗性品種の選定	三輪千華・植松清次・大泉利勝・海老原克介・木戸一孝・津田新哉	168
ジャガイモマイクロチューバーへのシュードモナス・フルオレセンス剤の処理方法と収穫塊茎の 青枯病菌潜在感染抑止効果	中保一浩・秋津教雄・仲川晃生	168
雨よけ栽培の導入によるブドウ晩腐病に対する殺菌剤散布回数の削減	富田恭範・宮本拓也・長塚 久	169
長野県における赤ナシ「幸水」での殺菌剤削減の影響	江口直樹・山岸菜穂・原 廣美	169
ほ場の周囲に植栽した緑肥作物の農薬飛散（ドリフト）防止効果	酒井 宏・富田真佐男・吉岡正明・關 匡房	169
虫 害 の 部		
茶園における黄色高圧ナトリウムランプを中心とした害虫総合防除	岡野英明・衣巻 巧・折原紀子・福嶋淑恵・原 敬	170
長野県松川町産ミダレカクモンハマキのふ化時期と防除対策	南島 誠・北城正典・山口克幸	170
木更津市におけるオウトウショウジョウバエによるブルーベリー果実被害対策	高橋京子・内野 憲	170
複合交信かく乱剤を用いた大型施設ハーブにおける害虫防除効果	片瀬雅彦・清水喜一・大木 浩・内田重夫・永田健二・内藤尚之	171
山梨県におけるタバコガ類の発生消長と被害実態	國友義博・佐幸歌菜・天野絵美	171
東京都のエダマメ圃場におけるダイズシストセンチュウの発生実態	伊藤 綾・竹内浩二・高木章雄・櫻井文隆・渋澤英城・菅谷悦子・栄森弘己・山岸 明	172
小笠原諸島におけるフタテンミドリヒメヨコバイの発生確認とその被害	小野 剛・小谷野伸二・野地喜徳・大林隆司	172
埼玉県におけるフタオビコヤガの大発生について	江村 薫・根岸 進・新井利行・瀧口康策・根岸 勉・橋本 円	172

霞ヶ浦 - 北浦水系におけるスクミリンゴガイの分布拡大	伊藤健二・守屋成一・田淵 研	173
育苗箱施用殺虫剤3剤が水田におけるイネミズゾウムシの発生量に与える影響	森本信生・渡邊朋也・安田哲也・石崎摩美・星野 滋・日鷹一雅	173
ホソヘリカメムシ雄成虫に誘引された同種成虫の体内器官の発達状態	水谷信夫・安田哲也・守屋成一・山口卓宏・東後晶子	173
網室内に放飼したクモヘリカメムシの日周活動と配偶行動	石崎摩美・安田哲也・森本信生・橘 真一郎・松木伸浩・渡邊朋也	173
フィールドサーバに接続されたデジタルカメラによるクモヘリカメムシ日周活動の連続観測	渡邊朋也・深津時広・胡 浩明・世一秀雄・平藤雅之	174
ミカン園に発生するミヤコカブリダニによるミカンハダニの抑圧	片山晴喜・多々良明夫・土井 誠・金子修治・西東 力	174
ナシ園におけるカブリダニ類の発生状況と薬剤感受性	山城 都・若槻睦子	175
有機JAS規格ナス栽培で使用可能な天然系薬剤の土着天敵に対する影響評価	根本 久・月舘洋吉・中村良子・山村光司	175
イタリアに侵入したクリタマバチに対する日本産チュウゴクオナガコバチ大量導入とその問題点	守屋成一	175
コナガサムライコマユバチの寄生能力を増大させる糖給餌	小堀陽一・光永貴之・下田武志・鈴木芳人	176
蛹期に 線を40 ~ 70Gy照射されたアリモドキゾウムシの妊性と寿命	山口卓宏・鳩野哲也・守屋成一・水谷信夫	176
圃場試験による生物農薬の効果判定に用いる指数値の検討	鈴木芳人・山村光司	176
ヨトウガ核多角体病ウイルスの宿主体内における増殖と宿主の発育	務川重之・後藤千枝	177
虫害抵抗性をもつ細菌エンドファイト共生作物の持続的利用に関する シミュレーションモデルによる検討	佐藤幸恵・鈴木芳人・小堀陽一	177
 そ の 他		
関東東山地区に新たに発生が確認された病害虫(2005年度)		179
本会記事		183
英文目次 (CONTENTS)		185
関東東山病害虫研究会投稿規定, 執筆要領		187
関東東山病害虫研究会賛助会員		193